

## 公共事業事前評価調書

[ 記入責任者職名 農村計画課長 荻野 憲一 ]

## 事業プロフィール

## 【事業概要】

ふりがな 事業名	あまくさちゅうおうきた 県営 天草中央北 地区 中山間地域総合整備事業
事業箇所	天草市
事業担当課(室)	計画 : 農林水産部 農村計画課 (調査計画班 内線 5496 ) 実施 : 農林水産部 むらづくり課 (農山漁村支援班 内線 5475 )
事業期間	平成 25 年度 ~ 平成 30 年度 ( 6 年間 )
総事業費	1,076.0 百万円 (うち県費 322.8 百万円 )
事業内容	受益面積 A=68.8ha ・区画整理(整地工A=43.5ha(10工区)) ・農業用排水施設(用水パイプラインL=4,690m(1工区)) ・農地防災(ため池改修1箇所(1工区))
事業目的	本地区は天草市の北部に位置し、農業が基幹産業となっている地域である。 河川沿いに小規模で不整形な水田が広がり、地形的な制約から生産基盤の整備が遅れている。また、農家の高齢化や担い手の不足もあり、生産条件の不備と相まって生産効率の低下や耕作放棄地の増加が懸念される。 このため本事業により、用排水路及び区画の整理、農道の整備などの生産基盤の整備を行うことにより、耕作放棄地や遊休農地を解消するとともに、農作業の労力軽減と耕地の利用を高めるものである。併せて、後継者や新規就農者の育成を図り地域農業の振興に寄与する。

## 【現況写真】



## (事業着手前の状況)

農地は不整形で狭小であり、農道は狭く、筆毎に繋がっていない。さらに用排兼用の土水路で、田越しとなっているため、適正な水管理ができていない。このため、新規作物導入等の障害となり、作業条件が不利なため、農作業に多大な労力を費やすなど、このままでは、担い手が育たず、耕作放棄地を誘発し、地域の農業振興が図れない。

## 【 検討状況 】

技術的難易度	県内での実施地区も多く技術的な問題もない。
費用便益比	B/C = 1.64
事業比較  <small>事業を実施しない場合や代替案を含めて事業実施についての比較検討を行った内容(ソフト対策も含む)</small>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業を実施しない場合は、狭小で不整形な農地や狭い農道、田越しの用排水路のため、効率的な営農が図れず、地域農業の衰退と耕作放棄地の増加が十分予想される。</li> <li>・本地区は、基盤整備が実施されておらず地形的条件にも不利な地域であり、生産性の低い農業を余儀なくされている。よって、一体的な生産基盤の整備を行い生産性の向上を図るには、本事業による整備が最も妥当。</li> </ul>
関係法令等の手続きの把握・完了状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土地改良法手続きは、今後の事業採択の見込みが確定した段階で開始する予定である。</li> <li>・河川、道路、文化財等の事前協議は完了している。</li> </ul>

## 【 周辺状況 】

関連事業	なし
市町村、地元の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・天草市の農業振興地域整備計画に位置づけられている。</li> <li>・平成22年10月に事業推進連絡会を設立し、事業を推進している。</li> </ul>
説明会の開催状況と関係者の意向	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工区毎に関係受益者を対象とした事業説明会を行っている。</li> <li>・受益者からは、事業の早期実施を強く望まれている。</li> </ul>

## 【環境影響】

### ① 緑・自然生態系への配慮

	環境配慮事項	該当地域の有無等
1	希少な野生動植物や特定植物群落などの生息や生育地域及びその周辺地域に該当しないか。	無
2	生態系の保全に重要な湿地、湿原、干潟又は藻場は存在しないか。	無
3	気候緩和、防災や景観保全機能に重要な役割を持つ森林、草原、街路樹等の緑資源が存在しないか。	無

### ② 地形・自然景観への配慮

	環境配慮事項	該当地域の有無等
1	自然景観資源、特異な地形・地質・自然現象等の優れた自然地形及びその周辺地域に該当しないか。	無
2	湧水、滝・溪谷、自然海岸など希少な自然地形及びその周辺地域に該当しないか。	無
3	自然地形の改変(切土、盛土)、構造物の設置、緑化等を実施する際の配慮を要する地域に該当しないか。	無

### ③ 水資源への配慮

	環境配慮事項	該当地域の有無等
1	水量、水質の保全に重大な影響を及ぼす水道水源等の上流域に該当しないか。	無
2	河川、海域、地下水等を汚染するおそれのある地域に該当しないか。 (工事施工に伴って発生する濁水が河川に流出しないよう、工事の施工方法に留意する。)	有
3	地下水量あるいは地下水かん養量を減ずるおそれのある地域に該当しないか。	無

### ④ 生活環境への配慮

	環境配慮事項	該当地域の有無等
1	史跡・名勝・天然記念物、歴史的建造物、町並み等有形の文化財及び埋蔵文化財等への配慮を要する地域に該当しないか。	無
2	大気汚染、騒音、振動、悪臭への配慮を要する地域に該当しないか。	無
3	周辺地域への日照障害、電波障害、光害や風害の防止への配慮を要する地域に該当しないか。	無
4	住宅地や集落地などの地域コミュニティ分断への配慮を要する地域に該当しないか。	無
5	水辺へのアプローチの確保と親水空間の創出に配慮を要する地域に該当しないか。	無

**事業評価表**

①基礎的事項の評価:評点 I

評価項目	評価内容	配点	判定	評点
基礎的事項	下記のすべての項目を満たすこと			
地元推進体制の整備	①受益者に対する事業計画内容、負担金等の説明	60	○	60
	②事業推進協議会、土地改良区又は関係市町村の事業推進体制		○	
	③営農推進組織の設置(生産基盤整備事業のみ)		○	
	④維持管理方法及び費用等に関する予定管理者との協議		○	
	⑤財産譲与を受ける体制		○	
環境	①田園環境整備マスタープラン又は農村環境計画の策定		○	
	②地域環境情報会議の実施と、環境配慮の検討		○	
事業関係者、関係機関との協議、調整	①施設所有者、消防関係者、漁業者、NTT、JR、地元関係者等と調整		○	
	②文化財関係部局との調整		○	
	③河川管理者、道路管理者等との事前協議		○	
事業内容	①要綱・要領等に規定された事業内容、採択要件への適合	○		
	②受益地が農振農用地であることの確認	○		
	③地域、営農、流通上の一体的な受益設定	○		
	④関係法令、基準等への適合	○		
	⑤地形、地質、水利状況等からみた、技術的可能性	○		
他農業農村整備施策や生産調整との整合	①他の農業農村整備に関する施策との調整	○		
	②生産調整の達成状況(生産基盤整備事業のみ)	○		
必要性～計画の検討度	①すべての項目でE評価を満たすこと		○	
		60	評点 I 計	60

②必要性(重要性)、緊急性、事業効果(効率性)、計画の検討度の評価:評点 II

a=4点、b=3点、c=2点、d=1点、e=0点

評価項目	評価内容	配点	判定	評点
必要性(重要性)	①農業、農村の発展等の観点からの必要性	4	a	4
	②各種計画への位置づけ(事業計画の位置付け)	4	b	3
	③事業の広域性(市町村合併支援)	4	c	2
	④地域の状況(過疎、振興山村、離島振興、半島振興、特定農山村の指定:特定地域振興)	4	a	4
	⑤受益者の熱意	4	c	2
	⑥農用地の有効利用による食料供給力の強化	4	b	3
		24	計	18

評価項目	評価内容	配点	判定	評点
緊急性	①他の公共事業や施策(ソフト)との関連	4	b	3
	②他農業施策との関連	4	a	4
	③施設の老朽化による機能低下	4	c	2
	④周辺農地や宅地等への被害の可能性(防災事業対象)	4	c	2
		16	計	11

評価項目	評価内容	配点	判定	評点
事業効果(効率性)	①費用対効果の算定	4	a	4
	②事業完了後の営農計画の見込み(生産基盤整備事業のみ対象)	4	c	2
	③担い手への集積について(担い手育成型の事業のみ)	0	該当なし	0
		8	計	6

評価項目	評価内容	配点	判定	評点
計画の検討度	①コスト縮減の検討	4	d	1
	②事業費単価(該当事業のみ対象)	0	該当なし	0
	③用地取得に係る権利関係の調整(該当事業のみ対象)	4	c	2
		8	計	3

項目数	評点計	配点計	*	40	=	評点 II
14	38	56				27

(必要性(重要性)～計画の検討度の評価:評点 II の配点40点)

③総合評点

評点 I	+	評点 II	=	総合評点
60		27		87